

# 胃がん検診（胃X線検査、胃内視鏡検査）

- ◆胃がんは、日本人のがん死因の、男性では3位、女性では5位を占める疾患です(2022年)。
- ◆胃がんの5年生存率は、症状が出て病院を受診した場合は60～70%であるのに対して、検診を受けて治療した場合は約80%以上、また内視鏡で切除できるような早期のがんであればほぼ100%ですので、検診での早期発見が重要です。
- ◆もちろん、症状がある場合には随時医療機関の受診が必要です。

検診による  
早期発見・早期治療が重要です。

